

令和２年度事業評価書（令和元年度事業）

評価事項	評価項目	評 価	評 価 内 容
教養文化 の向上	量的な視点から サービスは適切 に行われたか。	<div>適切に行われた</div> ほぼ適切に行われた 適切とは言えない。	新型コロナの影響で中止した講座があ ったが、昨年度よりも開催回数が増加し ている。
	質的な視点から サービスは適切 に行われたか。	<div>適切に行われた</div> ほぼ適切に行われた 適切とは言えない。	施設利用者を講師として、書道、演劇、 食育等に関する多様な講座やワークシ ョップを開催している。
	地域的な広がり、 維持が適切に行 われたか。	<div>適切に行われた</div> ほぼ適切に行われた 適切とは言えない。	これまで実施している、大津おどりのイ ベントは、若年層への拡大、地域関係者 の拡大に貢献している。また、アウトリ ーチ活動も積極的に行っている。
	ステップアップ 促進が適切に行 われたか	<div>適切に行われた</div> ほぼ適切に行われた 適切とは言えない。	ロータリー祭でのステージ内容の充実 やアカデミー講座の受講生のモチベー ション拡大の取り組みを行っている。
情報発信	量的な視点から 適切に情報発信 が行われたか。	<div>適切に行われた</div> ほぼ適切に行われた 適切とは言えない。	あすと通信、ホームページ、SNS、市の 広報等を活用して、積極的に情報発信を 行い、問い合わせの数も増加している。
	質的な視点から 適切に情報発信 が行われたか。	<div>適切に行われた</div> ほぼ適切に行われた 適切とは言えない。	ターゲットや催事イメージを意識した デザインや視覚効果を高める告知を行 い、高い評価を得ている。

	情報発信の方法は、適切であったか。	<div>適切に行われた</div> <p>ほぼ適切に行われた 適切とは言えない。</p>	常に利用者がイベント情報にアクセスできるような工夫やターゲットを絞った告知を行って、効率的な情報発信を行っている。
地域支援	量的な視点から適切に地域支援が行われたか。	<div>適切に行われた</div> <p>ほぼ適切に行われた 適切とは言えない。</p>	9つの地域支援団体への支援を実施した。
	質的な視点から適切に地域支援が行われたか。	<div>適切に行われた</div> <p>ほぼ適切に行われた 適切とは言えない。</p>	支援団体が参加しやすい環境づくりに取り組んでいる。
	地域支援の方法は、適切であったか。	<div>適切に行われた</div> <p>ほぼ適切に行われた 適切とは言えない。</p>	支援団体のサポートを多面的に行っている。
市民ニーズへの対応	市民ニーズの把握と満足度向上への取り組みは適切に行われたか。	<div>適切に行われた</div> <p>ほぼ適切に行われた 適切とは言えない。</p>	市民利用者懇談会や出演者とのミーティング、アンケートの実施など、多面的に、現場の声を収集して、満足度向上に取り組んでいる。

事業計画 とコンセプトとの 整合性	策定された事業計画は、文化の自分化創造館を実現する・具体化する取り組みとして適切であったか。	<div>適切</div> <div>ほぼ適切</div> <div>適切ではない</div>	地域の文化・芸術の活動、情報発信拠点として、多様なイベントを開催するとともに、次世代人材育成を目的とした事業も行っている。
	策定された事業計画の実施によって具体的な成果（アウトカム）が上がっているか。	<div>上がっている</div> <div>どちらとも言えない。</div> <div>上がっていない。</div>	大津おどりやコンサートのイベントでは、異世代間交流の促進が実現している。
	PFI 事業者の実施体制は、文化の自分化創造館を実現する・具体化する取り組みとして適切であったか。	<div>適切</div> <div>ほぼ適切</div> <div>適切ではない</div>	事業計画の策定・実施を関係事業者一体となって取り組んでいる。

#### 事業についての講評

施設コンセプトである「文化の自分化創造館」に沿って、地域の文化・芸術の発信基地、活動拠点として、着実に活動の幅と質を上げる取り組みを行っている。また、次世代人材育成や異世代間交流促進のイベントも意識的に行っていることは高く評価できる。

その一方で、現行の芸術を中心としたイベントに加えて、今後は、大津おどりのような泉大津独自の文化の継承を目的としたイベントをさらに増やすことが望まれる。例えば、毛布やニットなどの泉大津独自の地場産業の文化の継承が上げられる。これは、産業文化の継承のみならず、後継者育成による地域経済活性化につながると思われる。さらに、あすとホールの利用者間の人材交流により、泉大津の芸術文化と産業文化の融合の拠点となり、泉大津独自の特産品の創出といったイノベーションが将来生まれる可能性もある。そのような異業種間の人材交流の場としての機能も今後は期待したいところである。

#### PFI 事業者への提言、提案など

今後は、事業者である JTB グループ会社が保有する観光文化資源の発掘や地域ブランディングの創出、コミュニケーション活性化に関するノウハウをさらに投入して、地域の芸術文化と合わせて地域経済の活性化につながる取り組みも期待したい。